

のぞむ通信

NOZOMU-KUWABARA

緊急告知！！

桑原望のラジオ番組

「長岡ホープ計画」3/1スタート！

毎週土曜日 PM10:30～

FMながおか80.7MHz

～ 御 挨拶 ～



引っ越ししました

新住所 & 事務所



〒940-0071

長岡市表町1-1-10(田中小児科医院斜め前)

TEL:0258-37-6681 FAX:0258-37-6682

私にとって二回目の選挙となる昨年4月の長岡市議選挙では、2,725人の方から投票していただき、再選することが出来ました。

当選後は、公約の実現はもちろんのこと、震災からの復興やシティーホールの建設など長岡市が抱えている課題に対して全力で取り組んでおります。

そこで、今回の活動報告では、再選後の活動の一部を皆様にお伝えしたいと思います。詳細は、HPに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

また、市民の皆様にご密着し、これまで以上に活動を充実させることを目的に、左記住所に引っ越ししました。借家ですが駐車場もありますので、お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

選挙戦で訴えた事を中心に、これからも長岡市の未来の為に全力で走り続けます。これからもよろしくお願ひします。

長岡市議会議員 桑原望

新しい議会を目指して

私の議員活動の大きなテーマの一つに「議会の活性化」があります。一期目は、海外視察の中止を実現し、政務調査費のあり方などについて取り組んで参りました。

私が考える「議会活性化」のキーワードは、「情報発信」と「市民参加」です。「情報公開」という後ろ向きな姿勢ではなく、むしろ積極的に「情報発信」を行うことによって、市民が市政に関わることを促すことが、長岡市の未来につながるかと信じています。

「情報発信」の取り組みとして、議員が行っているブログのポータルサイトを作成しました。「市議らって！」(<http://shigilatte.com>)というこのサイトでは、議員が行っているブログの更新状況が確認できます。

また、議会では「議会活性化検討委員会」が立ち上がり、私も委員として参加しております。この委員会では「わかりやすい質問のあり方」「政務調査費」についてなど、全ての点において、議論を行い、答申をまとめることになっていきます。

まだまだ活性化への道のりは遠いですが議論の場が出来たことは意義のある一歩だと思っております。



シティーホールの建設

「市役所」「公会堂」「屋根付き広場」の三点セットからなるシティーホールも、設計者が決まり、建設に向けて動き出しております。

私は、シティーホールの建設について「賛成」しましたが、そもそも全て「行政」のみの力で活性化することはあり得ないと考えております。

友人がカレーの移動販売を屋をしていました。「こんなお店がまちなかにあつたらいいよね」という話になり、難しいと思いつつも調べてみると、手続きをすれば出店が可能だとわかりました。今では、毎週火曜日にカレー屋さんとパン屋が出店し、中心部の新たな賑わいを生み出しています。

このように、活性化で大切なのはハードではなく、ソフトの部分です。残念ながら「行政」はソフトを創ることは得意ではありません。しかし、市民の間にはソフトという「宝」が沢山あります。

私は、市民と行政とを繋ぎ、シティーホールを「市民との協働の場」にすることが、コーディネーターとしての私の役割だと思っております。



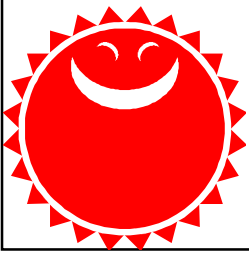
長岡市の地球温暖化対策について

問 これまでの長岡地球温暖化対策実行計画は、市役所内部の職員が中心となつてつくられていた。しかしその場合には、達成が容易な計画になりがちである。新しい計画の策定に当たっては、学識経験者やNPOなどの専門的な意見も積極的に反映するべきではないか。

答 新しい実行計画は現在コンサルタントに委託して策定中である。この計画については、できるだけ、外部の意見を取り入れながら、ハイレベルな内容の計画となるよう努めていきたい。

問 平成14年に策定された実行計画は、平成11年を基準年として、温室効果ガスの総排出量を5%削減することを目標としていた。しかし、今年6月のドイツサミットで提案された温室効果ガスの総排出量を現状から2050年までに半減させるといった世界的な流れから考えると、当初の目標はあまりに低い新しい実行計画では、これまでよりもさらに踏み込んだ目標を設定すべきと考えるが、市の見解は。

答 今後、下水道汚泥を焼却せず乾燥処理したり、生ごみをバイオガス化する事業を進めることで、ごみの焼却量を大きく減少できると考えている。これらを前提に、少なくとも第一次計画の削減目標を上回る数値を設定するという強い気持ちで策定に臨みたい。



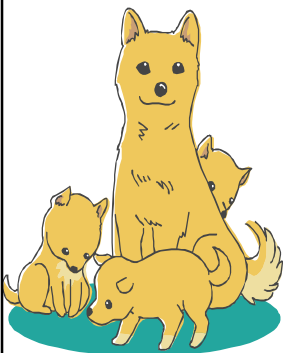
映像による地域の活性化について

問 山古志を舞台にした映画「マリと子犬の物語」や大河ドラマ「天地人」により、今後、観光客が増えることが予想される。これらの映画やドラマを観光に生かすための市の戦略は。

答 映画のロケ地活用や、大河ドラマのロケ地誘致については、各地域の関係機関等と連携を密にしながら積極的に取り組みを進めていく。また、ロケ地と新長岡市の地域資源とを結ぶ観光周遊ルートの設定や、情報発信により、市全体の交流人口を増加させ、一過性でない、地域に根付いた観光振興につなげていく。

問 現在、フィルムコミッション準備会では、前述の映画の撮影以外にも、ドラマや映画の撮影のコーディネートといった活動を行っている。しかし、手弁当で活動するのは限界に達しており、正式な設立に向けて市の支援が必要と考えるが、市の見解は。

答 フィルムコミッションも市民の理解があれば、行政側が支援していくのは当然のことだと考えている。現在、「マリと子犬の物語」支援連絡会とも正式な発足に向けた協議を進めており、「天地人」のロケ誘致など今後の観光戦略を考える上でも大変重要であるので、早期立ち上げに向けて積極的な支援、協力を行っていきたい。



桑原望の活動に興味がある方は

<http://nozomu.info/>

(「yahoo」か「google」で「桑原望」で検索！)

ご意見、ご感想は →

e-mail: nozomu@pop21.odn.ne.jp



市政勉強会のご案内

毎月第三月曜日、19時30分より中央公民館(柳原分庁舎)で市政勉強会を行っています。皆様のご参加お待ちしております。

参加無料 どなたでも参加出来ます。